

旧村川別荘 S Pレコード鑑賞会

開催日 11月22日(土)

第1回 PM13:30~14:30

第2回 PM15:00~16:00



主催／  我孫子オーディオファンクラブ
我孫子市教育委員会



手作り蓄音機

1920年代の蓄音機の部品・部材を集めて製作。ホーンはボール紙と和紙で作り、内側にはバイオリン用の天然ニス塗布。尚、再生にはソーン針(サボテンの刺)を使います。

蓄音機から出る音はセピア色をした昔の写真の様。少しボケてはいるけれど、味わいのある「音の原風景」をお楽しみ下さい。



ソーン針(サボテンの刺)



いにしえの空間で 懐かしい音色をお楽しみ下さい。

曲 名	作曲者	演奏者	使用レコード
① カミン・スルー・ザ・ライ	スコットランド民謡	Sop A. グルック	米VIC1914年
アルマ・グルック(ソプラノ)(1884-1938) ルーマニア・ブカレスト生まれ。ルーマニア系アメリカのソプラノ。5歳のとき両親とニューヨークに渡る。1909年メトロポリタン・オペラ・デビュー。以降、同オペラで活躍。カルーソーとも多数共演。この頃がソプラノとして彼女の最も輝いた期間だった。1914年ヴァイオリン奏者ジンバリストと2度目の結婚。1925年コンサートを最後に引退したが、終生、オペラのアリアとともに この種の民謡を大変得意とした。			
② ナポリよさらば	コットロウ	Ten E. カルーソー	米 VIC1919 年
エンリコ・カルーソー(テナー)(1873-1921)イタリア、ナポリ生まれ、20 世紀初頭から 1920 年までの期間、伊スカラ座、英コヴェントガーデン、米ニューヨーク・メットを中心に空前絶後の人気を誇った名テナー。			

↑ 以上ラッパ吹き込み

↓ 以下電気録音

③ ウィーン綺想曲	F.クライスラー	Vn F. クライスラー	米 VIC1927 年頃
フリッツ・クライスラー(1875-1962) ウィーン生まれ。オーストリアのヴァイオリニスト兼作曲家。7歳でウィーン音楽院入学。85年一等賞を得て卒業。次いでパリ音楽院にてヴァイオリンと作曲を学び、87年ローマ大賞を獲得した。以降ドイツ、フランス、アメリカを中心に活躍、作曲も行なった20世紀前半を代表する大ヴァイオリニスト。この曲もクライスラーの作曲になるもの。			
④ 荒城の月	瀧廉太郎	Vc E. フォイアマン	日 COL1934 年
エマニュエル・フォイアマン(1902-1942)オーストリアのチェロ奏者。ウクライナ生まれだったが、1909年家族とともにウィーンに移り音楽教育を受けた後、1912年ウィーン・デビュー。その後ベルリン音楽大学などで教鞭もとる。1938年アメリカに渡り、カーティス音楽院教授など歴任。1934年、日本に初来日。この演奏は そのとき録音されたもの。			
⑤ 野ばら	山田耕筰	Vc E. フォイアマン	日 COL1934 年
大正 8 年に三木露風の詩をもとに山田耕筰が作曲したメロディーの美しい佳曲。演奏は、カザルスにも引けをたらないとも言われた夭折のチェリストエマヌエル・フォイアマン(上記)。			

曲名	作曲者	演奏者	使用レコード
⑥ ただ一度だけ 映画”会議は踊る”より リアン・ハーヴェイ(1906-68)イギリス生まれのドイツの女優・歌手。”会議は踊る”のクリステル役で著名となり、劇中で唱った”ただ一度だけ”は日本でもヒットした。女優やオペレッタ歌手として活躍。第二次大戦中はナチスを逃れてドイツから離れたが、戦後ドイツに戻り舞台に復帰する。	W.R.ハイマン	Sop L. ハーベイ	日 COL1931 年
⑦ ダイナ 戦前からのいわゆるジャズ・ソングの代表曲の一つ。演奏は、グレン・ミラー、ジミー・ドーシー等のメンバーを擁したコルネット奏者レッド・ニコルスと彼のバンド「ファイブ・ペニーズ」。	Harry Axst	レッド・ニコルス & ファイブ・ペニーズ	米 VOCA1929 年
⑧ 銚子をさめて 藤原義江(1898-1976) 日本のテナー。イギリス人を父に、日本人を母に山口で生まれた。191年、戸山英二郎の名で浅草オペラ・デビュー。その後1920年イタリア留学し、ロンドンで再デビューした。1934年、藤原歌劇団を設立。以降 同歌劇団を率いて数々のオペラの日本初演を敢行する。日本国内ばかりでなく、欧米でもオペラ、リサイタルを行い、1964年 引退した。常に日本オペラ界において指導的役割を担ったが、オペラ・アリアと共に本曲のごとき日本歌曲の普及にも努めた。	中山晋平	Ten 藤原義江	日 VIC1935 年
⑨ 嘘くらべ 昭和10年代～の人気ヴォードヴィル・グループ(音楽コント集団)第1次あきれたぼういず(川田義雄、坊屋三郎、芝利英、益田喜頓)による漫談風音楽コント。テーマ曲は「チョイト出ましたあきれたぼういず、暑さ寒さもチョイト吹き飛ばし、春夏秋冬明けても暮れても歌いまくるがあきれたぼういず」	上山雅輔・三宅幹夫	あきれたぼういず	VIC1939 年
⑩ 深川節(端唄) 藤本 二三吉(1897～1976)日本で最初にレコード吹込みをした芸者。声量豊か。紫綬褒章(昭和43年)勲四等瑞宝章(昭和50年)受賞。	藤本 二三吉		日 VIC1935 年頃

※時間があれば、5.5 吋盤(米 LITTLE WONDER)をかけます。

5.5 吋盤:1914 年設立の 5 吋半の小さなSP盤。通常のSP盤の 1/10 以下の値段で流通し、レコード再生の普及に大きな役割を果たしたが1930 年代にはその役目を終えた。

《 担当 小笠原富雄 / 曲解説 高橋敏郎・後藤榮一 (AAFC) 》

